

令和7年度 事業報告

I 概 況

令和7年度の日本経済は、賃上げ率が2年連続で5%を上回るなど、「デフレ・コストカット型経済」から、その先にある新たな「成長型経済」に移行する段階まで来ました。

また、全国的に構造的な生産年齢人口の減少が続いている中、呉市も高齢化率が36.7%に達し、少子高齢化対策が喫緊の課題となっているため、政府の方針にもあるとおり高齢者世代を活用する施策の強力な展開が望まれます。

このような中、平成30年度の西日本豪雨災害後に回復した受託事業は、請負・委任契約から派遣契約への移行と就業会員の高齢化や減少により前年度を下回っております。

会員数の動向につきましては、全国シルバー人材センター事業協会が新たな指針として策定した「新たな仲間づくり計画～10万人の増加を目指して！～」に係る令和7年度の増加目標会員数17人を大幅に超える38人となりました。

今後ますます進行する超高齢化社会における社会的需要に応えて行くためシルバー事業の強化・充実に向けて、体制の整備とともに営業・企画力の底上げを図る必要があります。

○ 事業実績の推移

区 分 \ 年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
会 員 数 (人)		669	633	602	589	627
受 託 事 業	受 注 件 数 (件)	4,786	4,618	4,337	4,188	3,988
	就業実人員 (人)	477	459	443	444	451
	就 業 率 (%)	71.3	72.5	73.6	75.4	71.9
	契約金額 (千円)	297,305	291,313	283,226	286,260	289,355
	就業延人員(人日)	55,362	53,758	50,995	48,305	48,020
派 遣 事 業	受 注 件 数 (件)	21	21	25	19	24
	契約金額 (千円)	29,815	37,650	40,559	41,796	45,589
	就業延人員(人日)	3,708	4,771	5,332	5,583	6,250

※ 派遣事業は公益社団法人広島県シルバー人材センター連合会の事業です。

以下、主要事項について報告します。

1 会員の拡大

会員の拡大はシルバー人材センター（以下「センター」といいます。）の大きな課題の一つであり、減り続けている会員数に歯止めをかけるため、各種講習会の実施をはじめ呉市の広報紙への掲載、「就業会員パネル展」の開催、ホームページや Instagram（インスタグラム）を通じた広報、街頭キャンペーンによる啓発活動を推進し会員の勧誘に努めました。

今年度の入会者は110人、退会者は72人で、年度末の会員数は合計627人となり前年度末より38人増加しました。（該当する事業1―1・4―5）

2 就業開拓及び就業率の向上

就業開拓は、会員の拡大とともにシルバー事業の維持発展のための大きな柱です。職員が事業所を訪問し、仕事の依頼を行いました。また、就業率の向上については、就業に必要な知識、技能を習得するための各種講習会を開催し、幅広い職種を選べるよう就業機会の拡大に努めました。

就業率は会員数が増加したため、71.9%で前年度より3.5ポイント減少しております。（該当する事業1―1）

3 独自事業の推進・開拓

独自事業については、「再生自転車の販売」事業を令和4年度から廃止したため、新たな事業を開拓し独自事業の創生を図るため、研究・検討を行いました。（該当する事業1―1）

4 安全・適正就業の推進

安全就業は、センターにとって最も優先する課題です。

今年度も安全管理委員会を開催し、意見交換を行いました。また、安全管理委員と安全対策推進員等による就業現場への安全パトロールや各職群別に安全就業講習会を実施し、会員の安全就業に対する意識の高揚を図り、重篤事故等の防止に取り組みました。

また、会員の事故防止に対する認識を啓発するため、安全標語やヒヤリ・ハット体験事例の募集並びに会員専用サイト「Smile to Smile」を利用した情報発信等を行いました。

今年度の事故状況は、傷害事故10件、損害事故13件発生しました。前年度に比べ11件増加しております。

今後、安全就業について、より一層取り組みを強化し、事故防止に努力します。

適正就業については、法令遵守の徹底とともに、ローテーション就業の促進、長期継続就業の解消に努め、就業の適正化を図ります。（該当する事業4―(2)）

5 研修会・講習会の開催

センター会員の仕事に対する地域社会の信頼確保には、知識、技能の習得と向上は欠かすことの出来ない要件です。

会員の技能習得と新規会員の勧誘を目的として、「草刈機取扱い講習会」と「剪定講習会」を開催し、呉市の広報紙「市政だよりくれ」で募集した受講生にはセンター加入を勧めました。

また広島県シルバー人材センター連合会主催の高齢者活躍人材育成事業による技能講習会に会員が参加しました。(該当する事業3)

6 労働者派遣事業の推進

シルバー事業の「臨時、短期、軽易」な仕事という基本に立ち返り、受託事業の自主点検による適正就業を遵守するとともに、業務の拡大に努めました。(該当する事業2—(2))

7 福祉・家事援助サービスの推進

一人暮らしや、高齢者世帯が年々増加し、また、女性の就労促進が課題となっている現在、福祉、家事援助サービス及び子育て支援等の業務の拡大や、それらに習熟した女性会員の拡充が重要です。

今年度も前年度に引続き、市が主催する「呉市生活支援・介護予防サービス体制整備推進協議体」に参加しましたが、受注実績は13件と思わしくなく、引き続き周知に努めます。(該当する事業1—1・4—(3)(4))

8 普及啓発活動の推進

毎年10月の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」に合わせて、呉駅前周辺やゆめタウン前において街頭キャンペーンを実施しました。

また、呉市の広報紙「市政だよりくれ」への記事掲載やセンターの広報紙「呉シルバーだより」を発行するなど広報活動に努めました。

9月には呉海軍墓地合同追悼式に向けての長迫公園（旧呉海軍墓地）の清掃・剪定奉仕活動を行い、シルバー事業の普及啓発活動に努めました。

11月には呉医療センター附属呉看護学校の地域実習に協力し、学生と公園清掃就業会員が行動を共にすることで、センターの理解に努めました。(該当する事業4—(1)(6))

9 職業紹介事業の実施

発注者から求人を受け付け、発注者と協議を重ねる中で労働者派遣事業契約を締結したため、実績はありませんでした。(該当する事業2—(2))